

基礎期通信「ひたまり」

市立札幌開成中等教育学校

基礎期通信 NO.6

2020.06.30(Tue.)

一人ひとり感謝の心を大切に♡

新しい北海道の生活様式で、マスクが体の一部になり、通常日課に戻りました。給食準備は、基礎期ではない多数の先生も机の消毒作業を行ってくれて、とてもありがたいです。感謝の気持ちを伝える機会があれば、伝えてみようね。また、100分授業には慣れてきましたか？体や心は疲れていませんか？気温が高くなるので、マイボトルで給水を忘れずにしましょうね！

1. コズプロ(コズモプロジェクト)はキャリア教育

本校の総合的な学習の時間は、「コズモプロジェクト(コズプロ)(CP)」と呼びます。変化が激しく、多様かつ複雑な社会の中で自分らしく生きていくために必要な力(対話力、批判的思考力、判断力、協働力、職業観、勤労観)を養います。各ステージでは、基礎期「仕事と社会～仕事を知る～」、充実期「自分と仕事・仕事と未来～仕事をつくる、仕事がわかる～」、発展期「自分と未来と社会と～世の中をつくる～」をテーマにし、学びを展開します。基礎期は1年「自己理解」、2年「自分ごと化」を目的に下記のプログラムに取り組みます。



- ・ Future Job Session(通称 FJS):「働く」こと概念を学びます。外部からの講師を招いてワークショップも実施します。
- ・ Service as Action(通称 SA)(一人一役、会社活動):学校内で仕事を「見つける」「つくる」活動を行います。MYPのコアである SA となります。
- ・ いのちを考える時間:体験学習や話し合い活動、専門家の講話等を通して生命の大切さや生き方について考えていきます。
- ・ 自分プレゼン:自己実現へむけた PR 力の向上(自己をみつめ、言語化する力の向上)、学校・保護者・本人の3者の協働と理解を高める環境づくりをする。
- ・ 試行錯誤:開成の学びで身につけた「思考力」「知識と技能」を表現する機会とする。
- ・ こころとからだの時間(道徳の時間の中で):「何を学ぶか」→「どう学ぶか」を探究していきます。自分の考えの発信・受容、人間関係づくり・協働から ATL を身につけます。

生徒は、コズプロの時間で、学校生活や教科の学習で身につけた「どのように社会、世界と関わり、より良い人生を送るか」「何を知っているか、何ができるか」「知っていること、できることをどう使うか」を転移し自らのキャリア(進路)に活かします。

2. 情報を「読み取る」ことから「行動」ができることの重要性

掲示板は見たことがありますか？国語ラウンジは1年生向け、社会ラウンジは2年生向けの情報が載っています。その他には、保健室前は生徒の健康面、国際交流ラウンジは留学、職員室前は奨学金等の内容が掲示されています。さて、情報はこれだけでしょうか。

本校は、1年生から6年次までの幅広い年齢層の生徒がいます。生活関係やキャリアなど、掲示板も多種多様な情報が存在します。掲示板の情報は誰かのための情報ではありません。「あなたのための情報」です。そこで、基礎期では掲示板から情報を「読み取る」。そして「行動」ができると、今後の生活も幅が広がると思います。

3. 相談室ランチ～先輩 DJ ありがとう！保健室へ Let's Go!!～

毎年本校は、相談室ランチを行っています。今年度は実施が難しいかな？と思っていたら、3年 SA と 5年 CAS が見事ニーズに応じて、ラジオパーソナリティのように進行して盛り上げています。1年生は質問用紙の「開成で楽しみな行事」「趣味」「特技」「開成にあったらいいもの」「休校期間中にしていたこと」「先輩に聞きたいこと」を記述し、先輩が進行します。7月29日までに1年生が全員行きますので、楽しみにしていてね！

3年 Y

相談室では6月16日(火)から1年生の皆さんに相談室を身近に感じてもらうため、「相談室ランチ」を開催しています。しかし、今年はコロナウイルスの影響で給食を食べながら会話することができません。そこで、3年と5年の有志生徒が先輩 DJ としてラジオ形式で皆さんの交流をサポートしています。毎日チーム内の5,6人が給食を食べながら、趣味や開成の話題で盛り上がっています。この機会が先輩や相談室を身近に感じるきっかけとなれば嬉しいです。

5年 N

毎日、個性あふれる1年生が来てくれて、私はとても楽しいです。レポートや人間関係で悩んでいる姿を見ると、私たちが1年生の時も同じように悩んでいたなあ、と懐かしくなります。今は、大変なことや苦しいことがたくさんあると思いますが、きっといつか「この学校に来てよかった」と思える日常が皆さんのもつてくることを願っています。相談室では、先生だけでなく、私たちのような上級生と話す機会もあるので、何かお話ししたいことがあれば気軽に来てくださいね。

4. Personal Project と 試行錯誤 の 関係性 ～ 好きをスキルに磨きましょう～

基礎期のみなさんは、卒業がまだまだ遠く感じる中、何に向かって、何をゴールにしてやっていけばいいのか、あまり明確ではないかもしれません。本校の生徒が取り組んでいる Middle Years Programme が4年次で修了となります。その4年間の学びはどこで表されているのかということ、MYP の集大成となる Personal Project (パーソナルプロジェクト、P.P.) です。P.P. は、1年生～4年次の4年間で、獲得した知識、身につけてきたスキル、深めてきた理解を見せる場です。

P.P. に向けて、生徒は今何をしておけばいいのか？知識だけでなく、自分の興味関心や好奇心を失わずに、幅広く新しいことに挑戦すること。そして様々なスキルと理解を深めていくこと。

そのために基礎期では「試行錯誤」に取り組みます。試行錯誤の時間がコミュニケーションや自己管理などの大事なスキルを磨くチャンスなので、失敗を恐れずにそのチャンスを掴んでいきましょう。

5. IB コラム②～国際的な視野 (International Mindedness) とは～

IB の目標の1つに、国際的な視野をもつ生徒をはぐくむという目標があります。この国際的な視野をもつとはどういうことなのでしょうか？国際的な視野について触れる際に、IB は、International と global という2つの言葉の違いに触れることが多いですが、皆さんはこの2つの言葉の違いが分かりますか？International という言葉の中には、国と国という関係が強く意識されており、自国中心に他国とのつながりを考えるという意味合いがあります。ところが global という言葉には、国と国という関係は意識されません。国を超えて言語、習慣、文化、思想、歴史、宗教的な背景を理解した上でものを見ていくということです。つまり、ある地域に住んでいるだけでは見えない、多面的な視野 (different perspective) を獲得し、世界中の人々とコミュニケーションを取れる人間を育てるということです。これが、相手の立場を理解し、世界の平和に貢献する若者の育成につながります。

